

# 日川協通信 (112)

平成27年9月1日



一般社団法人 全日本川柳協会

〒530-0041 大阪府北区天神橋 千石

北一一一九〇五

電話 (06) 6352-2210

FAX (06) 6352-2433

振替口座 00970-9-3575

<http://www.nissenkyou.or.jp>

## ご挨拶

理事長 大野 風 柳

お暑うございます。台風の影響を受けた方々に心からお見舞いを申し上げます。いくら暑くとも、いくら寒くとも、川柳をしっかりと心に抱いている姿は、実に爽やかに見えるものですね。

さて、今年は柳多留250年という実に私たちにとって意義のある年であります。東京ではそれを祝う、いくつかの大会が開かれ、開こうとしております。いくら暑くとも、いくら寒くとも何があっても「川柳」は元気に飛び跳ねるものです。そこから人間を詠む作品が生まれます。これが川柳のエネルギーだと思えます。

さて六月に千葉真銚子市を挙げての全日本川柳大会が開かれました。その役を果された皆さん、心からご苦労さんと申し上げます。

げます。また時間をかけて参加された方々のお顔は実に美しく見えました。宿泊所のエレベーターの中で名前を知らなくとも、みんな川柳の友たちでした。

やはり人間を詠む川柳は凄いなと思いました。その人間の「ぬくみ」が川柳を前へ押し出す大きなパワーだと知りました。年一回のこの大会は「川柳の原点」だとも思いました。更にこの大会で川柳の作品を高めることも再認識しました。大会の作品は決してゴールではない。むしろ作品のスタートにしなければならぬことを痛感しました。あの美しい笑顔がまだまだ作品に達していないのではないのでしょうか。

今年はジュニアの部の出席者が多く、これもこれからの大切な教えだと思えました。小中学生が受賞される光景(?)はすばらしいものでした。多くの教訓を与えた大会でした。

今回は感じたことを正直に書かせて貰いました。ありがとうございます。

# 第39回 全日本川柳 2015年 千葉大会

(当日参加者 607名/事前参加者 1,910名/ジュニア参加者 8,644名)

## 文部科学大臣賞

H Bどちらの濃さも私です

岐阜 紙谷 清

## 参議院議長賞

好奇心これがわたしの葉緑素

青森 濱山 哲也

## 川柳 大賞

鉛筆で書いては消している翼

静岡 岡 米山明日歌

## 大会賞

抱きしめて沼のひとつを消しました  
 伸びる芽へ白紙の地図を添えてやる  
 風が誘うからトムソーヤになろう  
 言の葉を沈めて沼が澄んでくる  
 今日からは二人で編んでいく歴史  
 銀杏散る私は何を遺せるか  
 生きてこそあしたの風に踏み出せる  
 ロボットが吠える愛ってなんですか  
 母の木が静かに吠えている非戦  
 ドーナツの真ん中辺に誘う声  
 今の内漂白したい世界地図

宮城 鎌田 京子  
 東京 西潟賢一郎  
 奈良 ひとり 静  
 宮城 西 恵美子  
 青森 三浦 幸子  
 茨城 佐瀬 貴子  
 福島 島田 光子  
 千葉 斉藤 昭子  
 埼玉 斎藤 弘美  
 群馬 河合笑久 慕  
 茨城 松本 晴美

## ジュニア部門

### 千葉県知事賞

えんぴつとけしごむまるで父と母

新潟 柿崎 小 5 太田 圭人

### 銚子市長賞

ヨイどん今日の自分をおつかける

千葉 花野井 小 5 正木 敬梧

### 千葉県教育長賞

めをとしてこのころのこえをきいてみる

千葉 豊里 小 4 加瀬 葵唯

### 銚子市教育長賞

明日はね今日の私をこえていく

富山 五福 小 4 中澤 凜

### 全日本川柳協会賞

えんぴつはぼくのえがおが大好きだ

富山 野村 小 5 常川 大翔

スタートの音はお花が開く音

佐賀 東脊振 小 3 松尾 芽

### 教育新聞社賞

迷っていいだからふみだせ第一歩

千葉 白山 中 2 吉田 朋望

じん生は自分のみらいつまってる

愛知 相山学園 小 3 尾崎 瑠璃

えんぴつで自分の未来かきおろし

千葉 第五中 1 飯田 慎也

平成27年度 第2回理事會

東西合同常任幹事會 (六月十四日)

通常總會

場 所 〓 銚子市青少年文化會館

定足数の確認のあと議事録署名者選出

東西常任幹事會・總會 議案

議案第一号 平成26年度事業報告承認

の件

議案第二号 平成26年度収支決算報告承認の件

承認の件

報告第一号 平成26年度監査報告の件

新理事選任の件

報告第二号 全国大会表彰の件

その他

理事會 議案

議案第一号 平成28年度題と選者の件

議案第二号 役付理事の選任の件

議案第三号 新常任幹事選出の件

その他

右の議案案件について審議の結果、理事會、總會で承認された。

〈大会連続出席者〉

連続10回参加

長谷川酔月・田久保亜蘭

篠田 東星・手塚 好美

小山しげ幸・草間 敏也

連続15回参加

川合 笑迷・白勢朔太郎

〈マスコミ柳壇の指導を10年以上行つた者〉

長谷川酔月・鈴木 如仙

三浦 宏

〈第10回80歳以上の功労者顕彰〉

辻 晩徳・廣島 英一

石田 一郎・鷺見 敏彦

長江 時子

協会運営に貢献のあつた方

佐々木文子

〈第8回川柳文学賞〉

正賞「雲のかたち」

準賞「レム睡眠」

鎌田 京子

竹内ゆみこ

第39回千葉大会選者

第一部 事前投句選者

「スタート」 久崎 田甫 選

「葉」 千葉 絹子 選

「誘う」 鈴木 順子 選

「鉛筆」 菅原 孝之助 選

第二部 当日投句選者

「沼」 赤松 ますみ 選

「吠える」 齊藤 由紀子 選

「地 図」 金子 美知子 選

ジュニア部門

「スタート」 池 森子 選

「えんぴつ」 酒井 青二 選

「自由に作る」 江口 信子 選

第二次選者

久保田 半蔵門・雫 石 隆子

赤井 花城・佐藤 美文

島田 駱舟・森 中 惠美子

(順不同・敬称略)

# 一般社団法人全日本川柳協会役員

## 常任幹事

理事長 大野 英雄（風 柳）  
（順不同・敬称略）

副理事長 竹本 正秀（瓢太郎）・久保田茂三（半蔵門）

常務理事 磯野 勇（いさむ）・本田 智彦（智彦）

大木 俊秀（俊秀）・岡崎 守（守）

河内 權治（天笑）

理事 佐藤 政彦（岳俊）・平田 朝子（朝子）

赤井 二郎（花城）・津田 暹（暹）

雫石 隆子（隆子）・松代 章弘（天鬼）

平山 繁夫（繁夫）・小島 和幸（蘭幸）

佐藤 美文（美文）・井原 満子（みつ子）

植木 利衛（利衛）・島田 信一（駱舟）

監事 天根 利徳（夢草）・秋田 恂（じゅん）

相談役 尾藤 三柳

顧問 河村 建夫・田辺 聖子・池井 優

川村 恒明・林 えり子・塩見 草映

清水 厚実・近藤 勝重

### A1地区

辻 晚穂・浪越 靖政

### A2地区

佐藤 古拙・高瀬 霜石・館岡 稻風・長谷川酔月

渡辺 松風・熊谷 岳朗・西 恵美子・仁多見千絵

山口まもる・駒木 一枝・山田 昇

### A3地区

太田紀伊子・上田 健太・酒井 青二・篠崎 紀子

高鶴 礼子・てじま晚秋・西潟賢一郎・花道 歌子

松岡恵美子・守屋不二夫・渡辺 梢・荻原 鹿声

篠田 東星・秋山 春海・荻原 亜杏・田中寿々夢

原名 幸雄・江畑 哲男・及川竜太郎・太田ヒロ子

千葉 絹子・堀江 加代・米島 暁子

### A4地区

青田 煙眉・安藤 紀楽・安藤 波瑠・いしがみ鉄

上村 脩・大野 征子・小金沢綏子・こぎせせいぞう

齊藤由紀子・佐藤 孔亮・竹田 光柳・田中八洲志  
尾藤 一泉・廣島 英一・三井 良雄

A 5地区

荻原美和子・金子美知子・堀井 勉・渡辺 貞勇  
今田 久帆・岩田 明美・加藤 鯉・松川多賀男

A 6地区

玉島よ志子・中沢久仁夫・大野風太郎・川合 笑迷  
菅原孝之助・玉井たけし・山倉 洋子・石田 一郎

B 1地区

坂下 清・酒井 路也・久崎 田甫

B 2地区

鈴木 順子・奈倉 楽甫・小林 映汎・鷺見 敏彦  
宮村 典子

B 3地区

小梶 忠雄・植野美津江・大楠 紀子・土田 欣之  
川上 大輪・三宅 保州

B 4地区

赤松ますみ・池 森子・板尾 岳人・川端 一步  
高田美代子・竹森 雀舎・伊達 郁夫・田中 螢柳

田中 新一・長江 時子・西出 楓楽・西山春日子  
森中恵美子

B 5地区

上野多恵子・奥田みつ子・黒嶋 海童・長島 敏子  
村上 氷筆・矢沢 和女

B 6地区

新家 完司・鈴木 公弘・春木圭一郎・牧野 芳光  
森山 盛桜・松本 昌

B 7地区

高木 勇三・浅原志ん洋・淡路 獺眠・弘兼 秀子  
大場 孔晶・宮本 仙舟

B 8地区

土橋 旗一・福本 清美・上甲 満男・田辺 進水  
平井 丹波・小笠原 望・竹崎たかひろ

B 9地区

梅崎 流青・古谷龍太郎・菖蒲 正明・西村 正紘  
井上 万歩・永石 珠子・平井 義雄・田口 麦彦  
安永 理石・泉 談亭・進藤すぎの・麻井 文博  
大田かつら

# 正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	19,777	34,781	△ 15,004	
受取入会金	15,000	27,000	△ 12,000	
柳社入会金	3,000	18,000	△ 15,000	
個人入会金	12,000	9,000	3,000	
受取会費	5,949,000	5,432,000	517,000	
理事会費	576,000	384,000	192,000	
常任幹事会費	3,000,000	2,640,000	360,000	
正会員会費(団体)	2,219,000	2,282,000	△ 63,000	
正会員会費(個人)	154,000	126,000	28,000	
普及向上事業収益	14,701,552	14,413,673	287,879	
誌上大会	3,480,000	3,363,943	116,057	
電子出版	1,263,600	0	1,263,600	
全国大会(事前)	1,784,001	1,988,120	△ 204,119	
全国大会(当日)	5,610,139	7,132,899	△ 1,522,760	
表彰後援事業	252,992	246,900	6,092	
選考協力事業	2,310,820	1,681,811	629,009	
受取補助金等	0	0	0	
受取寄付金	1,000,000	1,110,000	△ 110,000	
雑収益	0	0	0	
経常収益計	21,685,329	21,017,454	667,875	
(2) 経常費用				
事業費	19,439,873	18,839,365	600,508	
給料手当	3,700,858	3,411,999	288,859	
臨時雇賃金	317,140	79,440	237,700	
退職給付費用	142,500	135,000	7,500	
旅費交通費	536,860	725,440	△ 188,580	
通信運搬費	1,463,796	1,440,703	23,093	
支払手数料	5,724	4,095	1,629	
消耗品費	268,899	135,996	132,903	
印刷製本費	3,557,092	2,147,334	1,409,758	
光熱水料費	108,893	99,985	8,908	
賃借料	1,185,153	1,091,588	93,565	
保険料	45,492	46,950	△ 1,458	
諸謝金	1,993,880	1,480,000	513,880	
表彰後援費	503,447	907,936	△ 404,489	
実行委員会運営費	5,610,139	7,132,899	△ 1,522,760	
雑費	0	0	0	
管理費	1,809,685	1,803,398	6,287	
給料手当	194,782	379,111	△ 184,329	
退職給与費用	7,500	15,000	△ 7,500	
福利厚生費	11,688	46,100	△ 34,412	
会議費	243,050	161,124	81,926	
旅費交通費	224,350	171,920	52,430	
通信運搬費	77,042	146,842	△ 69,800	
支払手数料	4,644	6,390	△ 1,746	
消耗品費	14,153	15,110	△ 957	
印刷製本費	0	191,100	△ 191,100	
光熱水料費	5,731	11,109	△ 5,378	
賃借料	62,376	121,288	△ 58,912	
保険料	10,050	0	10,050	
法定福利費	627,599	138,808	488,791	
租税公課	70,000	0	70,000	
接待交際費	7,060	7,200	△ 140	
雑費	249,660	392,296	△ 142,636	
経常費用計	21,249,558	20,642,763	606,795	
当期経常増減額	435,771	374,691	61,080	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
退職給付取崩益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
(該当なし)	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期正味財産増減額	435,771	374,691	61,080	
一般正味財産期首残高	5,386,745	5,012,054	374,691	
一般正味財産期末残高	5,822,516	5,386,745	435,771	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	21,000,000	21,000,000	0	
指定正味財産期末残高	21,000,000	21,000,000	0	
III 正味財産期末残高	26,822,516	26,386,745	435,771	

# 監 査 報 告 書

一般社団法人全日本川柳協会  
理 事 長 大野 英雄 殿

平成 27 年 5 月 8 日

一般社団法人 全日本川柳協会

監 事 天根 利徳   
監 事 秋田 恂 

私は、平成 26 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日までの第 23 期会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

## 1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類及び公益目的支出計画実施報告書の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

## 2 監査意見

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の損益及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い法人の公益目的支出計画の実施の状況を正しく示しているものと認める。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

## 第8回川柳文学賞受賞作品

正賞『雲のかたち』 鎌田 京子  
準賞『レム睡眠』 竹内ゆみこ

2015年6月13日、千葉県・犬吠埼ホテルにて授賞式が行なわれ、平山繁夫選考委員をはじめ、多数の川柳家にお集まりいただき、賞状、盾と副賞10万円が、受賞された鎌田京子氏に手渡されました。また、準賞を受賞された竹内ゆみこ氏には賞状、盾、副賞3万円が手渡されました。

第8回川柳文学賞は平成26年に発刊された句集のうち、申請のあった13冊を選考委員（久保田半蔵門・平山繁夫・雫石隆子・林えり子（作家）4名（敬称略））が選考しました。

### ■ 総評 選考委員…平山繁夫

平成27年5月12日、東京・台東区西浅草生涯学習センターに於いて行われた。

出席者は久保田半蔵門委員、林えり子委員（作家）、平山繁夫委員、雫石隆子委員（文面参加）、オプザーバーとして、本田智彦事務局長が出席した。大木俊秀委員長は欠席。

### 『雲のかたち』

一位推薦者 雫石・林・平山の各委員

本書は史書的な作品である。内容的には抒情に流されず、伝統文芸としての「うがち」を主に置く手法がよい。最近の川柳は私小説的なものが多いがこの作品には普遍性、共感性があり、川柳らしさがある。また本来もつ抒情の古風を現代の知性に包みこむ技巧と、視覚的感覚から主知的思考への展開が巧妙である。

### 『レム睡眠』

一位推薦者 久保田委員

二位 “ 雫石委員

三位 “ 平山委員

この作品の軽味の世界、境地を思う。

リズム感があり、言葉に音楽性があり、心のゆらぎや微動力がよい。これからの川柳の方向性を示している。独特の文体を持ち、自己を凝視する姿がある。

若い作家のオリジナリティを評価し次代へつなぐ句集である。

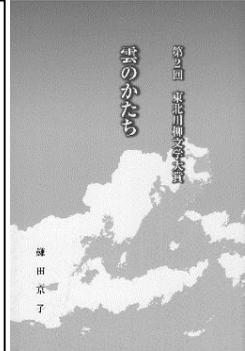
一方、本書に活用されている会話調は、短歌の世界で平易で都会的で若い歌人にうけたのが、昭和六十二年であり、学者から全体的に軽口で内質が貧しくなるとの指摘があり、短歌界で中心課題となった。そんな歴史があった事を川柳人も認識すべきだという発言も聞かれた。入賞外となった「ありがとう有難う」も注目された。

鎌田京子氏



■ 主な掲載作品『雲のかたち』

三月の海もわたしも泣き虫で  
悲しいことが沢山あつて裏返す  
黄昏を一枚ありがたくもらう  
雨上がる優しくされたところから  
再生へ無言のシャドウボクシング  
踏切を待つてうちに老人に  
泣くだけ泣いてバラが一輪咲きました  
うっかりと雲のかたちを渡される  
いちにちの真ん中辺で行くトイレ  
空ばかり掴まえている捕虫網  
熱れ過ぎて上手に笑えない果実  
消しゴムで消えないところ沼になる



平成26年2月1日発行  
四六判ソフトカバー 167頁  
高橋印刷株式会社 定価千二百円

■ 主な掲載作品『レム睡眠』

ああそうかそうかと水になってゆく  
0から1へものすごく遠いねえ  
すみませんあしたはどこにありますか  
こんなにやくの素質も少しおありです  
ちようどいい箱を見つけてきましたよ  
残念賞を袋いっぱい持ち帰る  
あなたのことをよく見るために目を閉じる  
さよならの匂いの残るシャツという  
泣いてたね知らないふりをしてあげる  
アリバイはある 徳島で踊ってた  
何もないかも知れないけれど手を開く  
ブラジルに届いてしまうほど笑う

竹内ゆみこ氏



平成26年12月22日発行  
A5判変型ソフトカバー 114頁  
新葉館出版 定価千円(税別)

# 平成27年度 80歳以上の功労者 略歴

(敬称略)

## 北海道 辻 晩穂



昭和5年3月5日生  
北海道川柳連盟 顧問  
北海道川柳連盟 顧問  
東北北海道川柳連盟 顧問  
北見文化連盟 参与  
北見市教育委員会 指導員(川柳講座) 他

平成14年「北の系譜」、平成16年「東北北海道川柳四十年史」、平成19年「時代の肖像」、平成21年「北の指標」、平成23年「北の指座」 他

## 東京都 廣島 英一



昭和2年11月10日生  
昭和50年3月 報知新聞「ほうち川柳 欄の復帰開設にともない投句開始、昭和56年5月足立区成人学校川柳講座

を受講、昭和56年9月 受講生9名にて足立川柳会を設立、講師に佐藤正敏、野谷竹路両氏に委嘱、平成15年6月我妻・野谷代表を経り三代目代表に就任、現在に至る。  
現在 足立川柳会代表、日川協常任幹事

川柳人協会 事務局長、東都川柳長屋連 店子足立区文化団体連立員会 常任理事兼顧問

平成3年 足立区文化発展に対する感謝状  
平成13年 足立区文化功労者として表彰  
平成21年 川柳文化賞  
平成24年 文化功労者として表彰

## 岐阜県 鷺見 敏彦



昭和7年7月28日  
岐阜県生まれ  
岐阜県川柳作家協会 理事長

柳 講師、元朝日新聞きふ柳壇 選者、岐阜県文芸祭専門委員、岐阜市文芸祭実行委員 他

## 長野県 石田 一郎



昭和8年7月10日  
昭和31年 川柳キマロキ吟社創設代表、昭和39年 長野川柳作家連盟 幹事、平成9年 長野

県川柳作家連盟会長就任(20年退任)、平成20年 長野県川柳作家連盟顧問、日本川柳ペンクラブ理事、平成13年から信濃毎日新聞柳壇 選者・北信濃新聞・テレビ飯山・のうさい北信等柳壇 選者・長野県シニア大学長野学部 講師・川柳宮城野 同人 選者  
現代川柳同人・現代川柳かもめ舎同人

## 大阪府 長江 時子



昭和7年大阪市生まれ  
昭和51年作句を始める  
昭和55年 朝日なわ柳壇創設と同時に投句開始、昭和56年 堺番傘川柳会に入会、昭和59

年 番傘川柳本社同人、昭和63年 泉北すばる川柳会を創設(現在27年目)、平成元年 川柳eiの会設立に参画(その後会長)、平成10年 朝日カルチャー川柳講座講(14年間)、平成11年 高島屋ローズカレッジ川柳講師(6年間)

平成15年 川柳句集「仙人掌の花」を発売(600部)、平成16年 同句集が「第7回日本自費出版文芸賞」受賞  
平成23年 堺番傘川柳会会長(4年間)  
現在、番傘川柳本社常任幹事 指導部長  
泉北すばる川柳会 会長

# 全日本川柳誌上大会のご案内

## (平成柳多留第19集)

日本の全柳人が、だれでも、どこからでも参加できる「全日本川柳誌上大会」(平成柳多留第19集)を開催します。日川協年次大会・国民文化祭文芸大会と並ぶ(一社)全日本川柳協会の権威ある三大年間行事ですので、こぞってご参加ください。

一般社団法人 全日本川柳協会

理事長 大野 風 柳

出版委員長 河内 天 笑

### 課題と共選者 (各題2句・連記)

「賑やか」 佐藤 古 拙——平井 丹 波 共選

「みごと」 篠崎 紀 子——田中 螢 柳 共選

「節目」 大野 征 子——上野 多 恵子 共選

「導く」 荻原 鹿 声——土橋 旗 一 共選

「視線」 石田 一 郎——小島 蘭 幸 共選

第二次選者 本田 智彦 赤井 花城 雫石 隆子  
佐藤 美文 井原 みつ子

参加費 2000円 (投句料・『平成柳多留』第19集代金含む)

賞 平成柳多留賞・川柳大賞・NHK会長賞  
日本青少年育成協会会長賞・全日本川柳協会賞  
全日本川柳誌上大会賞 (予定)

締 切 平成28年2月1日(月)〈当日消印有効〉

発表・表彰 第40回全日本川柳愛媛大会(平成28年6月)

参加方法 参加用紙に記入し、参加費2000円(振替又は小為替)とともに下記へご送付ください。

〒530-0041 大阪市北区天神橋二丁目北1-11-905

一般社団法人 全日本川柳協会

電話 (06) 6352-2210

FAX (06) 6352-2433

振替口座 00970-9-3575

# 第十八回 全日本川柳誌上大会

(平成柳多留) 入 選 作 品

(参加者 1,744 名)

平成柳多留賞

いい町だみな石垣の顔でいる

栃木 柳岡 睦子

N H K 会長賞

いちにちをたたむ夫婦の茶にたたむ

新潟 若林 柳一

日本青少年育成協会会長賞

もう風は読まなくていい日向ぼこ

茨城 佐瀬 貴子

全日本川柳協会賞

人間が殖えて歪になる器

愛知 伊賀 武久

全日本川柳誌上大会賞

いつの日か核の柩を送ろうか

千葉 岡部 則正

人ひとり赦し大河となるころ

山形 鈴木異呂目

良く来たと窓から孫を抱き上げる

福岡 井村 隆

命誕生家系図を弾ませる

東京 西潟賢一郎

ゆつたりと昭和史たぐる大戦史

広島 野村 弘之

(川柳大賞はご本人の申し出により取り消しました。)

第一次選者

「ルーツ」

廣島 英一

大楠 紀子

「ゆつたり」

花道 歌子

「招く」

川端 一歩

大野 風太郎

「種(字結び可)」

淡路 獭眠

館岡 稲風

「栄える」

上甲 満男

辻 晩穂

第二次選者 (50音順)

平山 繁夫

岡崎 守

河内 天笑

佐藤 岳俊

田中 新梢

# 日川協ホームページで句会案内をしよう

次の例会はいつ？お題は何？あなたの柳社の例会案内が日川協のホームページで確認できるようになりました。手続きは内容を各柳社で入力をして貰うだけ。入力をしたら即ホームページで見れるようになります。

是非やってみたいという柳社がありましたら、事務局までお問い合わせください。案内をお送りします。

## 句会案内の見方

日川協ホームページを開く  
↓  
川柳マップをクリック（選択）  
↓  
あなたの地域をクリック  
↓  
あなたの県をクリック  
↓  
あなたの柳社をクリック  
↓  
右図のような画面が表示されるので、「句会案内へ」をクリック



大阪府 「川柳天守閣」	
発行柳誌名 と年購読料	「天守閣」4500円/年
代 表 者	久保田半蔵門
住 所	〒569-0013 高槻市野田1-14-9
電 話 番 号	072-675-0362
設立年 / 初代会長	昭和5年（1930年）
句会の開催日 場所・会費 句会参加人数	毎月26日、井天町市民学習センター、700円、約50名
最近の受賞作品 主な作家の作品	世渡り上手な妻と今日も旅/三好孝一 二つ目の箱に本音を入れました/立蔵信子 知的空間に集まる無駄という時間/板野美子
句会案内	<a href="#">句会案内へ</a>
柳 誌	<a href="#">柳誌へ</a>



川柳天守閣 12月例会  
日 時 12月26日（金） 13時30分開場  
場 所 井天町オーク200生涯学習センター  
（オーク200オーク二番街七階）  
地下鉄中央線またはJR井天町駅下車すぐ  
TEL：06-6577-1430  
宿 題 「トンネル」（3句） 選者当日発表  
「優 男」（互選 2句）  
「雑 詠」（3句） 選者当日発表  
席題1題（共選）  
「互選」の締め切りは14時20分、他は14時40分です。

兼金水 「雑 詠」自選4句  
課題詩 「くしゃみ」(2句) 吉川 卓（清記）  
締め切りは毎月末です。

投句送り先 〒569-0013 高槻市野田1丁目14-9  
久保田半蔵門 宛  
TEL & FAX 072-675-0362

以上

こんな感じで見ることが出来ます！

各柳社で入力していただいた句会案内の内容を左図のように見ることが出来るようになります。

入力の仕方はとても簡単是非お問い合わせ下さい。

今後の全国大会予定

▼愛媛

平成28年6月26日(日)  
ひめぎんホール

▼札幌

平成29年6月

▼熊本

平成30年6月

今後の国民文化祭予定

▼鹿児島

平成27年11月1日(日)  
入来文化ホール

▼愛知

平成28年11月20日(日)  
犬山市民文化会館

▼奈良

平成29年秋

(元幹事・常任幹事)

平成27年1月以後(敬称略)

逝去日 謹んでお悔み申し上げます。

3 / 22	役職	お名前	年齢
4 / 5	常任幹事	大川幸太郎	91
6 / 15	常任幹事	井上博	85
7 / 6	常任幹事	新畑ひろし	99
	元常任幹事	黒川正之進	87

編集後記

★残暑お見舞い申し上げます。今年の夏は猛暑が長期にわたり続き、川柳家の皆さんもうんざりされたことと思います。

★P1で、大野理事長が述べていますように、去る6月14日に千葉大会が行われ、特に今回は銚子市との共催ということもあり、地元の方々の多大なるご協力とご尽力に感謝申し上げます。

★ことしは柳多留250年の節目に当たり、日川協としても誌上大会を実施したところ、予想以上に応募があり、その関心の高さが見られます。

★11月1日には国民文化祭かごしまが、薩摩川内市の入来文化センターにおいて行われます。皆様のご参加をお願いします。  
★2年に一度の加盟柳社一覽表(名簿)をお届けします。

★なおP4には新しい役員、常任幹事が掲載されています。新しい常任幹事の皆様のご活躍を期待します。

(事務局長 本田智彦)

第9回文学賞募集

日川協では川柳の普及向上を目的として、毎年1年間に出版された川柳個人句集のうち、もつとも優れた川柳句集に対して「川柳文学賞」を授与しています。  
平成27年1月から12月末日までに刊行した句集6冊及び同句集の概要説明書を平成28年1月末日までに当協会の「川柳文学賞」選考委員会宛にお送りください。  
沢山のご応募お待ちしております。